【個人】　　提　出　　平成 31 年 4 月 20 日

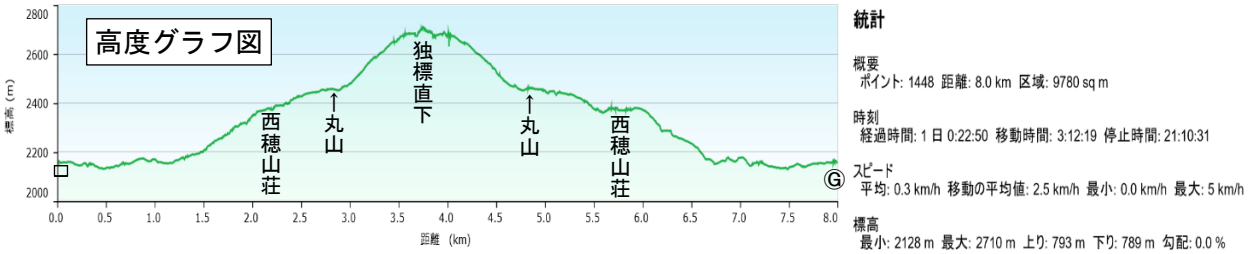
山　行　報　告　書

山　域・山　名：　西穂独標（2701m）　　（長野県松本市・岐阜県高山市）

入山日：平成 31 年4月12 日（金）～13日（土）　　メンバー・報告者：　岩田

天の川・左から霞沢岳、乗鞍岳、焼岳→

第一日目 4 月 12 日(金) 曇	【電車・ﾊﾞｽ・ﾛｰﾌﾟｳｪｲ】6:54 大宮はくたか 551 号⇒8:06 長野 8:18⇒9:36 松本 9:55 ﾊﾞｽ➠1:30 平湯温泉 11:40 ﾊﾞｽ➠12:25 新穂高温泉ﾛｰﾌﾟｳｪｲ 12:30 ---➤ 12:53 西穂高口 13:30Ⓢ西穂高口 2156m→15:10 西穂山荘(泊)2375m17:30 夕食　18:19 日の入　月齢：6.7　テント 8 張り　宿泊者 23 人　**行動時間：1 時間 40 分**
第二日目 4 月 13 日(土) 晴	5:20 日の出 6:00 朝食 7:10 西穂山荘 2375m→7:40 丸山 2452m→9:05 西穂独標の直下 2695m→10:50～11:00 丸山 2452m→11:36～12:15 西穂山荘 2375m→Ⓖ13:30 西穂高口 2156m　　**行動時間：6 時間 20 分** 【ﾛｰﾌﾟｳｪｲ･ﾊﾞｽ・電車】14:00 ﾛｰﾌﾟｳｪｲ ---➤ 14:30 新穂高温泉 14:55 ﾊﾞｽ➠15:28 平湯 15:50 ﾊﾞｽ➠17:15 松本 18:05 しなの 19 号⇒18:58 長野 19:08 あさま 630 号⇒20:26 大宮



感想：　第一日目　ロープウェイ駅を降り、アイゼンをつけて西穂山荘まで歩いた。雪は深いが固くトレースがしっかりついているので問題はない。曇り空で時々小雪が舞い、展望は良くないがそれでも夕方には雲のかかった霞沢岳、焼岳が望まれた。

朝の西穂高岳～西穂独標

第二日目　午前 3 時 35 分に起床し、天の川など満天の星空を眺め大満足だった。特に北斗七星が大きく感じられた。アイゼンとピッケルで出発。丸山を過ぎ次第に雪の斜面はきつくなり、西穂独標直下は急峻な岩と氷雪の壁となり、安全の為独標直下で引き返した。ここはダブルアックスがあったほうが良い。高気圧ボーイで好天に恵まれ、真っ青な空に真っ白な峰々を眺めながら、のんびりと下山した。

フォトギャラリーは“山の記録・MountainView”をクリックしてください。